

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通調査事業等)

平成26年4月1日

協議会名:函館市生活交通協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通ネットワーク計画等の 計画策定に向けた方針
【事業内容】 ・公共交通現況調査 ・現況分析・論点整理 ・公共交通のあり方検討 【結果概要】 ・既存資料の収集や社会経済状況の整理, 交通事業者の乗降データの収集・分析を行った。 ・現況調査やアンケート調査等から市民ニーズや利用意向のほか, 現状の交通体系における問題点やサービスの課題を抽出し, 課題解決に向けた検討の方向性を整理した。 ・今後の公共交通のあり方として, 目標と基本方針, 目指すべき将来像や, その実現に向けた具体的な推進施策について検討を行った。 - また, 施策効果の検証として, ゾーンバスシステム導入など, サービスレベル毎の需要変動予測を実施した。 ・平成26年2月には, 「函館市における公共交通のあり方検討報告書」をとりまとめ, 市に提出した。	A 計画どおり事業は適切に実施された。	当協議会からの報告書を受け, 現在, 市では「函館市地域公共交通総合連携計画」を策定中である。 平成26年度は, 当該計画に掲げるゾーンバスシステムの導入によるバス路線網の再編や, 交通結節点の整備などの関連施策の具現化に向けた詳細な調査を実施するほか, 生活交通ネットワーク計画(実施計画)の策定を予定している。 なお, 平成27年度からは, 地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)や地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)の活用を見込んでいる。



概 要

路線バス・市電・タクシー・JRといった、本市の公共交通を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、今後もさらなる高齢化の進展が見込まれるなか、公共交通の重要性はますます高まっていくものと考えられることから、将来にわたって持続可能な公共交通体系を構築することが喫緊の課題となっている。このようなことから、平成25年度に当協議会において、市が策定する予定の「函館市地域公共交通総合連携計画」に必要な調査を実施し、今後の目指すべき将来像や実現化に向けた具体的な推進施策など、今後の公共交通のあり方について検討を行う。

○地域公共交通の現況

- ・函館バス(株)(市内77系統, 郊外36系統)
- ・函館市企業局交通部(2系統)
- ・JR函館本線, 津軽海峡(函館駅, 五稜郭駅, 桔梗駅)
- ・スクールバス(6小学校, 3中学校, 1高校)

○調査の主な内容

- ・公共交通現況調査
既存資料および交通事業者の乗降データの収集・整理等
- ・公共交通需要変動予測調査
施策導入・サービスレベルの変化によるシミュレーション

○地域公共交通の課題

【バス路線網について】

- ・路線がわかりづらい
- ・他の交通機関との連携が不十分である
- ・同じ名前のバス停が複数存在している
- ・地区特性に応じた運行形態への見直しが必要である

【利用環境・走行環境について】

- ・待合環境の整備が不十分である
- ・乗り継ぎ環境の整備が不十分である
- ・超高齢化社会の到来に向け、さらなる利用環境の整備が必要である
- ・ニーズに合ったダイヤ設定がされていない
- ・市民や学生からは料金に対する不満も多い
- ・路線バスの定時性が確保されていない

【利用状況について】

- ・公共交通利用者は年々減少している
- ・市民の生活は自家用車に過度に依存した状況になっている

○協議会開催状況(平成25年度) 協議会4回, WG4回

- ・平成25年5月24日 平成25年度第2回協議会
協議会設置要綱の改正
公共交通のあり方検討のための基礎資料
市民, 通勤・通学者に関するアンケート調査について
- ・平成25年8月27日 平成25年度第3回協議会
平成25年度補正予算案
公共交通現況調査
現況分析・論点整理
- ・平成25年11月27日 平成25年度第4回協議会
平成25年度補正予算案
公共交通の課題と課題解決に向けた検討の方向性
公共交通の目指すべき将来像と
実現化に向けた具体的な推進施策
- ・平成26年2月14日 平成25年度第5回協議会
需要変動予測調査
公共交通のあり方検討報告書(案)

函館市生活交通協議会 調査事業の取組状況

●調査事業の結果概要

- ・ 既存資料の収集や社会経済状況の整理、交通事業者の乗降データの収集・分析を行った。
- ・ 現況調査等から課題を整理し、課題解決に向けた検討の方向性を整理した。
- ・ 今後の公共交通のあり方として、目標と基本方針、目指すべき将来像や、具体的な推進施策について検討を行ったほか、施策効果の検証のための需要変動予測を実施した。
- ・ 平成26年2月には、「函館市における公共交通のあり方検討報告書」を取りまとめ、市に提出した。

●調査事業実施の適切性

計画どおり事業は適切に実施された。

●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

当協議会からの報告書を受け、市では「函館市地域公共交通総合連携計画」を4月中旬を目途に取りまとめる予定である。
平成26年度は、当該計画に掲げるゾーンバスシステムの導入によるバス路線網の再編や、交通結節点の整備などの関連施策の具現化に向けた詳細な調査を実施するほか、生活交通ネットワーク計画(実施計画)の策定を予定している。
なお、平成27年度からは、地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)や地域公共交通バリア解消促進等事業(バリアフリー化設備等整備事業)の活用を見込んでいる。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄

■市街地におけるゾーンバスシステムを中心とした目指すべき将来交通ネットワークのイメージ

